



## 書評部門 佳作

P.N. 角 羊子さん 文学部 1回生

『超芸術トマソン』赤瀬川原平著 筑摩書房

都市に隠れた“トマソン”を見逃すな！

普段の街歩きに新たな喜びを与える「路上観察学」の決定版。

**ト**マソンと聞いて、元プロ野球選手の顔が思い浮かぶ読者は何人いようか。

この著書で述べられる「超芸術・トマソン」とは、読売ジャイアンツで四番打者に据えられたものの見事に！空振りをし続けた、ゲーリー・トマソンの名に由来する。役に立たないにも関わらず愛される、「不動産に付属し（あたかも芸術のように）美しく保存された無用の長物」という概念は、今からおよそ一世代前にちょっとしたブームになった一ー83年には「トマソン観測センター」設立、89年には映画『機動警察パトレイバー the Movie』に登場するなど、「超芸術トマソン」はカルチャーのハイ・ロウを問わず様々な分野に影響を与えてきたようである、われわれ若者の与かり知らぬところで。わたくし自身このような一風変わった本は、数頁めくってお終いにしてしまうことが多いのだが（才女に教わり興味本位で購入したものの、現に何年かは放っておいた）、ふと空き時間に読んでみるとこれが妙に面白いのである。

散歩中におかしな建築を探す人々の奇妙な雑記、と思うことなかれ。行く当てなく、ただ上って下りるだけの「無用階段」、塗り込めた壁から飛び出た蛇口「でべそ」、開けると壁面の「純粹シャッター」など、昭和を感じる白黒写真にぼんやりとキャプションを眺めるだけでも楽しい。そういえば通学路にトマソンはあったっけ？読むと普段の散歩道が180度変わって見えること、請け負いです。